

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校沖縄ビジネス外語学院
設置者名	鉢嶺 清浩

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
文化・教養専門課程	観光本科	夜・通信	666 時間	160 時間	
	英語本科	夜・通信	666 時間	160 時間	

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://gaigo.biz/about/disclosure/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	専門学校沖縄ビジネス外語学院
設置者名	鉢嶺 清浩

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	学校評価委員会（4名）
役割	自己点検及び評価の内容について、校長が外部人材を含めて学校評価委員会（4名）を組織する。また、委員会の点検および審議事項として、教育理念や教育目標、教育環境、就職支援、経営状況、コンプライアンス、教育カリキュラム等を「自己点検・評価シート」に作成し、年に2回の評価と分析を行う。また、その結果については、下記本校のホームページ上に公表する。 https://gaigo.biz/about/disclosure/

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
株式会社パートナーブレーン取締役	2025.4.1 ～ 2026.3.31	
沖縄女子短期大学准教授	2025.4.1 ～ 2026.3.31	
（備考）		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校沖縄ビジネス外語学院
設置者名	鉢嶺 清浩

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 授業計画の作成過程、内容精査 ・『シラバス(授業計画)作成要領』を作成 各授業の概要、到達目標、評価方法、授業計画等を記載するよう各担当教員に求める。 ・授業計画の第3者チェック 教務会議を開催し、カリキュラムポリシーとの相違点の有無のチェックを行う。 授業計画の作成・公表時期 シラバスは、刊行物として学生に配布するとともに、下記学校webにて公開 https://gaigo.biz/about/disclosure/	
授業計画書の公表方法	
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 授業態度、出席、学期末試験を講義への意欲として、どのように評価するかについて、授業開始時にオリエンテーションを行い学生に周知、またシラバスにて公表している。 各授業教員は、授業計画(シラバス)に記載した客観的な評価基準・方法のとおり、成績を認定する。	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 年2回の成績発表時に、「成績証明書」に学生自身の履修状況について、成績評価(S・A・B・C等)を点数化した評価値(GPA・GradePointAverage)を表示している。数値は、「履修した科目の評価に一定のGP(S評価:4.0、A評価:3.0、B評価:2.0、C評価:1.0)を与え、このGPにその科目の単位数を乗じ、その合計を履修科目の総単位で割る」ことで算出する。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://gaigo.biz/about/disclosure/
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 本学院のディプロマポリシーは以下のとおり 実学を学ぶ専門学校として話せる英語を身に着け、一般知識及び専門知識を習得すると共に、日本と沖縄の伝統文化を学び、国際社会の一員として世界に貢献し得る人材の育成を本学院の目標とし、上述の目的を達成するために編成された教育課程において、定められた卒業要件単位を修得し、次に記す能力を発揮できる素地を培った者に卒業を認定する。 高度な言語運用能力 英語に関し、読む、聞く、話す、書くという4技能で、国際社会で活躍するに足る実用的な運用能力を身に着けていること。 主体的に発信する力 自分の意見を持ち、客観的に分析する力、コミュニケーション能力、それらをわかりやすく表現する力を身に着けていること。 変化に対応できる能力 先入観に惑わされず柔軟に対応する姿勢と、他社からのフィードバックを認める受容性をもつ適応力を身に着けていること	
卒業の認定に関する方針の公表方法	https://gaigo.biz/about/disclosure/

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校沖縄ビジネス外語学院
設置者名	鉢嶺 清浩

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://gaigo.biz/about/disclosure/
収支計算書又は損益計算書	https://gaigo.biz/about/disclosure/
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告（書）	

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化教養専門課程	観光本科	平成7年文部科学省告示第4号			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1854 時間 単位時間／単位	単位時間 1077/時間	単位時間 0/時間	単位時間 777/時間	単位時間 0/時間	単位時間 0/時間
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
140 人		160 人	130 人	9 人	12 人	21 人	

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
文化・教養		文化教養専門課程	英語本科		平成7年文部科学省告示第4号			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
2年	昼	1928 時間 単位時間／単位	単位時間 1632/時間	単位時間 0/時間	単位時間 296/時間	単位時間 0/時間	単位時間 0/時間	
			単位時間／単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数		総教員数	
30人		120人	39人	6人	10人		16人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画の作成過程、内容精査 ・『シラバス（授業計画）作成要領』を作成 各授業の概要、到達目標、評価方法、授業計画等を記載するよう各担当教員に求める。 ・授業計画の第３者チェック 教務会議を開催し、カリキュラムポリシーとの相違点の有無のチェックを行う。 授業計画の作成・公表時期 シラバスは、刊行物として学生に配布するとともに、下記学校webにて公開 https://gaigo.biz/about/disclosure/
成績評価の基準・方法
（概要） 年２回の成績発表時に、「成績証明書」に学生自身の履修状況について、成績評価（Ｓ・Ａ・Ｂ・Ｃ等）を点数化した評価値（ＧＰＡ・GradePointAverage）を表示している。数値は、「履修した科目の評価に一定のＧＰ（Ｓ評価：４.0、Ａ評価：３.0、Ｂ評価：２.0、Ｃ評価：１.0）を与え、このＧＰにその科目の単位数を乗じ、その合計を履修科目の総単位で割る」ことで算出する。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業認定の条件は、基準の授業科目の学科試験、実習評価に合格し、成績取得が認定されていること。所定の出席時間をクリアしていること。卒業認定までに学費が全額納入されていること。上記の結果をもって卒業認定会議を開催し、要件を満たしていると判断された場合に卒業を認定する。
学修支援等
（概要） ・学生との個別相談や面談を実施、学習内容や方法等について指導する。 ・上級生による学習や生活サポートの援助を行う。

英語本科

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
34 人 (100%)	3 人 (8%)	22 人 (65%)	9 人 (26%)
（主な就職、業界等） 沖縄県内企業、観光業界			
（就職指導内容） 就活講義、個別面談、就職ガイダンスへ参加、校内企業説明会の実施等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 英検、TOEIC、サービス接遇検定、秘書検定等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
100 人	10 人	10%
(中途退学の主な理由) 経済的理由、進路変更等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 居場所作り・学習支援・個別面談・保護者面談		

観光本科

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
11 人 (100%)	0 人 (0%)	9 人 (82%)	2 人 (18%)
(主な就職、業界等) エアライン業界・ホテル業界			
(就職指導内容) 就活講義、個別面談、就職ガイダンスへ参加、校内企業説明会の実施等			
(主な学修成果（資格・検定等）) 英語技能検定・TOEIC・秘書検定・			
(備考)（任意記載事項） 未就職学生はほぼ留学生。卒業後特定活動ビザで就活中			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
88 人	3 人	3%
(中途退学の主な理由) 経済的理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) 居場所作り・学習支援・個別面談・保護者面談		

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
観光本科	100,000 円	750,000 円	257,000 円	
英語本科	100,000 円	730,000 円	247,000 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） 下記学校ホームページ上に公表 https://gaigo.biz/about/disclosure/		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
自己点検及び評価の内容について、校長が外部人材を含め学校評価委員会（4名）を組織する。また、委員会の点検および審議事項として、教育理念や教育目標、教育環境、就職支援、経営状況、コンプライアンス、教育カリキュラム等を「自己点検・評価シート」に作成し、年に2回の評価と分析を行う。またその結果については、本校のホームページ上に公表する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
株式会社パートナーブレイン取締役	2025. 4. 1～2026. 3. 31	経営計画の策定、人事、労務、財務
沖縄女子短期大学准教授	2025. 4. 1～2026. 3. 31	組織運営体制のチェック、法務
専門学校沖縄ビジネス外語学院 学 院長	2025. 4. 1～2026. 3. 31	評価全体のとりまとめ、フィードバック
専門学校沖縄ビジネス外語学院 事 務局長	2025. 4. 1～2026. 3. 31	評価全体のとりまとめ、フィードバック
学校関係者評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://gaigo.biz/about/disclosure/		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c) 当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://gaigo.biz/
--